

日本中央競馬会令和4事業年度決算等に関する公告

東京都港区西新橋1丁目1番1号
日本中央競馬会
理事長 後藤 正幸

1. 令和4事業年度の貸借対照表及び損益計算書の要旨

貸借対照表の要旨

一般勘定

(令和4年12月31日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	430,093	流動負債	57,674
固定資産	807,810	固定負債	35,909
有形固定資産	580,534	資本金等	1,060,861
無形固定資産	28,776	繰越利益剰余金	83,786
投資その他の資産	198,499	評価・換算差額等	-327
合計	1,237,904	合計	1,237,904

損益計算書の要旨

一般勘定

(令和4年1月1日から令和4年12月31日まで)

(単位：百万円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
事業費用	3,209,522	事業収益	3,293,755
勝馬投票券諸支払金	2,478,119	勝馬投票券収入	3,275,408
国庫納付金	327,368	事業収入	18,347
競馬事業費	136,585	事業外収益	4,566
競走事業費	135,188	特別利益	124
業務管理費	132,260		
事業外費用	18		
特別損失	5,120		
当期純利益	83,786		
合計	3,298,447	合計	3,298,447

貸借対照表の要旨

特別振興資金勘定

(令和4年12月31日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	77,823	流動負債	750
固定資産	35,002	特別振興資金	112,075
有形固定資産	34,169		
無形固定資産	792		
投資その他の資産	40		
合計	112,825	合計	112,825

損益計算書の要旨

特別振興資金勘定 (令和4年1月1日から令和4年12月31日まで) (単位：百万円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
事業費用	25,178	事業収益	1,525
競馬振興事業費	10,286	特別振興資金減少額	23,653
畜産振興事業費	4,245		
払戻金上乗せ費	6,694		
競馬法附則第8条第2項 による交付金	3,952		
合計	25,178	合計	25,178

(注) 1. 固定資産の減価償却の方法は定額法(機械・装置については定率法)による。

2. 有形固定資産の減価償却累計額は一般勘定で834,710百万円、特別振興資金勘定で10,010百万円である。

2. 主たる事務所の所在地、ディスクロージャー担当部署及びその電話番号

- | | |
|-------------------|-----------------|
| (1) 主たる事務所の所在地 | 東京都港区西新橋1丁目1番1号 |
| (2) ディスクロージャー担当部署 | 総務部 情報公開室 |
| (3) 電話番号 | 03-3591-5251 |

3. 令和4事業年度の事業計画の概要

(1) 競馬の開催

競馬場	開催回数	開催日数	競馬場	開催回数	開催日数
札幌競馬場	2回	14日	東京競馬場	5回	45日
函館競馬場	1回	12日	中京競馬場	6回	45日
福島競馬場	3回	20日	京都競馬場	0回	0日
新潟競馬場	4回	26日	阪神競馬場	6回	54日
中山競馬場	5回	42日	小倉競馬場	4回	30日

- ・ 合計開催回数 36回
- ・ 合計開催日数 288日

(2) 馬主、馬（競走馬）及び服色の登録並びに調教師及び騎手の免許の実施

馬主、馬（競走馬）及び服色の登録並びに調教師及び騎手の免許について、厳正に実施する。なお、馬主の登録及びその抹消並びに調教師及び騎手の免許及びその取消しにあたっては、あらかじめ公正審査委員の意見を聴き、厳正を期す。

(3) 厩舎関係者の養成等

競馬学校において騎手及び厩務員の養成を行い、技能等の開発・レベルアップに資するため、養成システムを充実し、実践的かつ体系的な指導・教育を行う。また、厩舎関係者に対する研修を実施し、技術・知識の向上等を図る。

(4) 特別振興事業等

- ① 競馬の健全な発展を図るため必要な事業を特別振興資金を使用して実施する。
- ② 畜産の振興に資するための事業に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付する。
- ③ 特別振興資金を使用して、払戻金への上乗せを実施する。
- ④ 地方競馬全国協会が行う競走馬生産振興業務及び認定競馬活性化計画補助業務に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付する。

4. 令和4事業年度の事業報告の概要

(1) 競馬の開催状況

競馬場	開催回数	開催日数	競馬場	開催回数	開催日数
札幌競馬場	2回	14日	東京競馬場	5回	45日
函館競馬場	1回	12日	中京競馬場	6回	45日
福島競馬場	3回	20日	京都競馬場	0回	0日
新潟競馬場	4回	26日	阪神競馬場	6回	54日
中山競馬場	5回	42日	小倉競馬場	4回	30日

- ・ 合計開催回数 36回
- ・ 合計開催日数 288日

(2) 馬主、馬（競走馬）及び服色の登録並びに調教師及び騎手の免許

登録等の種類	登録等の数	取消の数	事業年度末数
馬主の登録	174名	106名	2,740名
競走馬登録	5,330頭	5,168頭	9,052頭
服色の登録	128件	110件	2,044件
調教師の免許	190名	0名	190名
騎手の免許	149名	3名	146名

※ 上記のほか、国際交流競走に係る馬主の登録が4名及び取消が8名、競走馬の登録及び取消が5頭、服色の登録が4件及び取消が8件、調教師の免許者が5名及び騎手の免許者が9名あった。また、地方競馬との指定交流競走に係る馬主の登録及び取消が37名、競走馬の登録及び取消が59頭、調教師の免許者が48名及び騎手の免許者が39名あった。また、臨時試験による短期騎手免許者が10名あった。

(3) 競走馬の育成

日高育成牧場及び宮崎育成牧場において、2歳馬74頭及び1歳馬74頭の育成を行った。また、日高育成牧場において、当歳馬8頭、1歳馬9頭及び2歳馬9頭のJRA生産馬の育成を行った。

(4) 騎手の養成・訓練

競馬学校において騎手の養成を行い、9名が卒業した。令和4事業年度末現在の在校生数は21名である。

(5) 特別振興事業等の実施

- ① 競馬の健全な発展を図るため必要な事業を特別振興資金を使用して実施した。
- ② 畜産の振興に資するための事業に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付した。
- ③ 特別振興資金を使用して、払戻金への上乗せを実施した。
- ④ 地方競馬全国協会が行う競走馬生産振興業務及び認定競馬活性化計画補助業務に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付した。

5. 政府からの出資額

49億2,412万9千円（資本金の総額）

6. 子会社一覧

会社名	資本金	競馬会の 議決権所有割合
JRAシステムサービス株式会社	500,000千円	※54.5%
JRAファシリティーズ株式会社	300,000千円	※94.9%
日本馬匹輸送自動車株式会社	36,000千円	100%
株式会社中央競馬ヒール・センター	20,000千円	※64.3%
日本スターティング・システム株式会社	10,000千円	100%
競馬セキュリティサービス株式会社	100,000千円	※0%

※子会社を含めた議決権の所有割合100%（令和4事業年度末現在）

7. 組織の概要

(1) 役員の数

理事長 1 人、副理事長 1 人、理事 10 人以内及び監事 3 人以内

(2) 各役員の氏名、役職及び任期等（令和 4 事業年度末現在）

役 職	氏 名	任 期	経 歴
理 事 長	後藤 正幸	2020年9月12日 ~ 2023年9月11日	日本中央競馬会常務理事
副理事長	本川 一善	2020年3月1日 ~ 2023年2月28日	農林水産事務次官
常務理事	木村 一人	2021年3月1日 ~ 2023年2月28日	日本中央競馬会理事
常務理事	吉田 正義	2021年3月1日 ~ 2023年2月28日	日本中央競馬会理事
理 事	臼田 雅弘	2021年3月1日 ~ 2023年2月28日	日本中央競馬会広報部長
理 事	新屋 勇人	2021年3月1日 ~ 2023年2月28日	日本中央競馬会施設部長
理 事	植木 聡	2021年3月1日 ~ 2023年2月28日	日本中央競馬会 総合企画部長
理 事	清水 靖博	2021年3月1日 ~ 2023年2月28日	日本中央競馬会 プロモーション部長
理 事	橋本 次郎	2021年10月1日 ~ 2023年9月30日	日本中央競馬会総括監
理 事	佐野 健吉	2022年3月1日 ~ 2023年2月28日	日本中央競馬会競走部長
理 事	菊田 淳	2022年3月1日 ~ 2023年2月28日	日本中央競馬会審判部長
監 事	勝見 浩二	2021年10月1日 ~ 2023年9月30日	日本中央競馬会参与
監 事 (非常勤)	田中佐知子	2022年9月16日 ~ 2024年9月15日	弁護士
監 事 (非常勤)	小谷実可子	2022年9月16日 ~ 2024年9月15日	NPO法人 日本ホスピタリティ協会理事

(3) 職員の定数（令和 4 事業年度末現在）

1, 779名